

平成16年度

利賀川砂防事業遊砂地完成記念公園整備事業
「ネパール風公園」

富山県東砺波郡利賀村坂上18番地



平成16年10月5日

利 賀 村

利賀川砂防事業遊砂地完成記念公園の概要

利賀川砂防事業遊砂地工事が利賀川土砂災害防止のため、平成8年度から7年をかけ遊砂地の整備が行われ、平成14年10月に完成しました。

遊砂地は、流出土砂を安全に拡散堆積させ、災害を防ぐ砂防施設であり、利賀村と姉妹村のネパール王国ツクチェ村から石積技能士を招き、ネパールの伝統的の石積技法を用い護岸を施工しました。

この国際交流により完成をみた利賀川砂防事業遊砂地の完成を記念し利賀川砂防事業遊砂地完成記念公園を整備しました。

施設整備にあたっては、ネパールの文化を感じ取れるとともに森林が大半の本村にふさわしい木造施設を中心に和と洋の融合した国際交流の村ならではの特色を生かし、隣接する親水護岸（県工事）では、水量が少ないときには保育所の園児が水遊びをできるように整備しました。

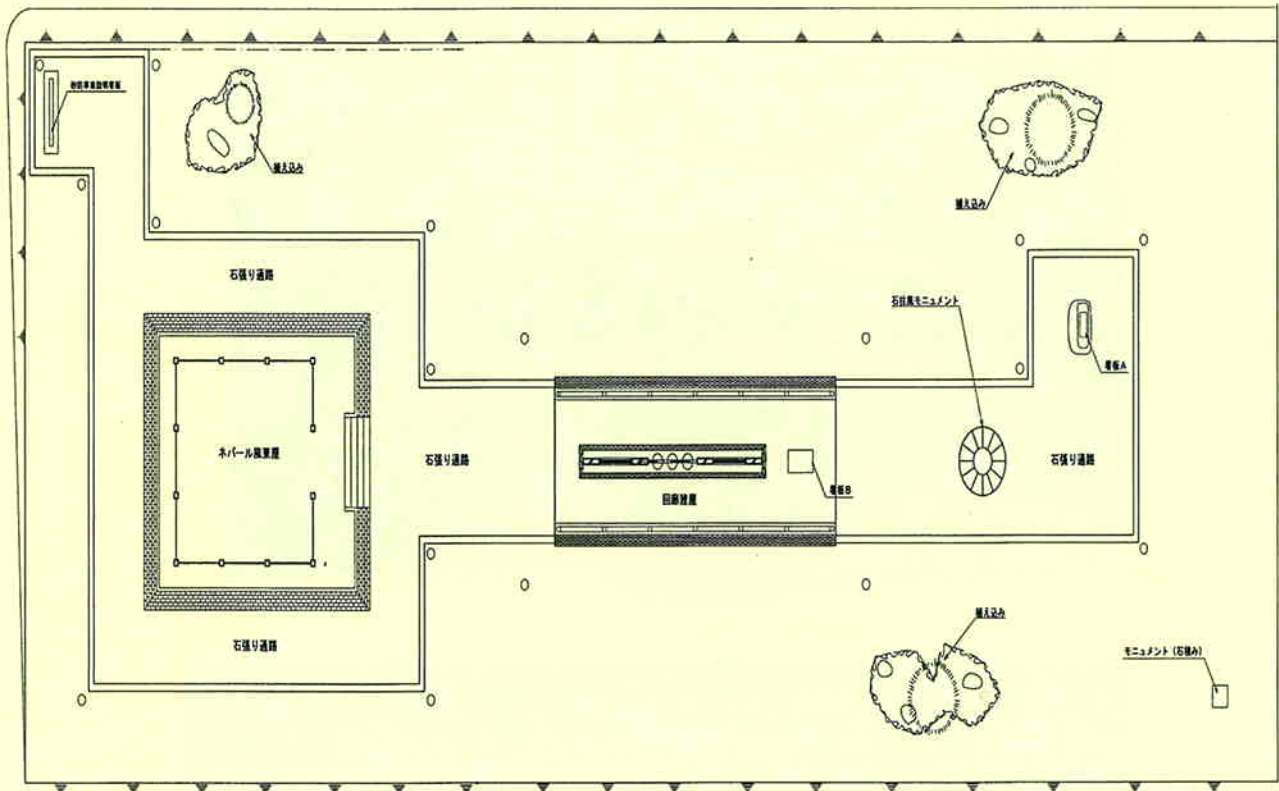
また、隣接するスターフォレスト利賀の周辺附帯機能強化として給排水、電気照明設備、駐車機能を備えた多目的広場を整備し、駐車場の拡充も行いました。

この施設は、砂防や自然環境、森林資源の重要性を多くの方々に理解して頂くとともに、周辺施設との一体化を図り、村内外の方々への憩いの場の提供と地域活性化の活動拠点の一つとして整備するものです。

- 事業名：利賀川砂防事業遊砂地完成記念公園整備事業
スターフォレスト利賀周辺附帯機能整備事業
- 施設名：利賀川砂防事業遊砂地完成記念公園、スターフォレスト利賀
- 設置場所：富山県東砺波郡利賀村坂上18番地
- 施設内容：回廊建屋、庭園、スターフォレスト利賀多目的広場他
ネパール風東屋（(財)砂防フロンティア整備推進機構寄贈）
砂防事業説明看板（県）、親水護岸整備（県）、
- 工期：着工 平成16年3月25日
完成 平成16年8月31日
- 設計：砂防事業遊砂地関連工事 (株)クリエイトセンター
スターフォレスト利賀周辺工事 (株)上智
- 工事施工：回廊施設整備工事 越飛建設・米澤工業・米倉組建築
工事共同企業体、
公園施設整備工事（庭園） 米澤工業（株）
スターフォレスト利賀周辺工事 (株)米倉組
- 事業費：下記の通り（村事業分のみ）

事業費（千円）		財源内訳（千円）	
本体工事	40,593	地方債	33,000
設計費	2,520	一般財源	10,113
計	43,113	計	43,113

- その他：ネパール風東屋の原木は利賀村森林組合寄贈



【公園平面図】



【スターフォレスト多目的広場】



【ネパール風東屋】



【回廊建屋】



魅力ある利賀の

地域づくりを目指して

利賀村地域活性化基本構想

平成16年10月

富山県 利賀村

はじめに

これからの利賀村への想い

利賀村長 米澤 博孝

これからの利賀村への想いの原点には、今年の11月の市町村合併にあります。合併後の新市である南砺市において、市民がこれまでの町村の枠が外れることとなり、利賀村も市の一部となり、新市民としては、一度は訪れて見たい気になるのではないのでしょうか。その時に、訪れた人々がこの地で、どのような感動を味わってもらうのが一番大事であると思っています。

そのためには、この坂上地区では既に施工してある「ネパール風の護岸」の周りを整備して、ここにこられた人が楽しかったというようなものを全（南砺市）市民に与えられるようにしたい。そうすればおのずからリピーターとして、また人づてに（評判が）広がりとおもいます。

そうした中でこの坂上地区と上百瀬の間を遠回りしていかなくてもいいように、今、五箇山三村で実施している五箇山合掌文化回廊の計画があります。この計画を魅力有るものにするためには、今進めている「新山神トンネル」の開通にむけスピードアップしていただき、完成すれば本当に素晴らしい状態となります。私としては究極の目的としてはそこまで整備したいと思っています。

そのためには、坂上地区（『ツクチェの郷』）の整備をしっかりとしたものにして、それを更に村全体の魅力のアップへ広げて行きたいと思っています。また、利賀村を訪れる観光客の動線が坂上地区も含めて、自然的に「瞑想の郷」や「そばの郷」、「飛翔の郷」「河童の郷」、「合掌文化村」を訪れるような仕掛けを考えていくことが大切であると思っています。さらに、利賀村と交流の深いネパール（ツクチェ村）の文化や歴史、風俗などを活用して、訪れる人の滞在時間や施設の質の向上を目指した、地域づくりを地元住民やこれから結成される「NPO」等と共に進めることが大切であると思っています。

この10月末に利賀村は閉村となります。そして、新たな南砺市利賀村へ生まれ変わります。この構想を基に、新しい利賀村として、一層、魅力的で活力あるものになることを大いに期待しておりまして、私も、一緒に頑張っていきたいと思っています。

平成16年10月5日

利賀村地域活性化基本構想

1. 坂上地区のコンセプトとなる愛称

ネパール王国

『ツクチェの郷』

この坂上地区には、ネパール王国ツクチェ村と同様に、「そば」、「宗教文化」、に加えて、防災という視点での『川』という、3つの接点があることから、整備コンセプトをネパール王国「ツクチェの郷」としました。

2. 構想の策定にあたって

平成16年10月末に利賀村が閉村となるにあたり、当村では今後の地域活性化の基本構想となるプラン策定を（財）砂防フロンティア整備推進機構にお願い致しました。

策定にあたって、砂防フロンティア研究所長 田畑茂清氏と利賀村長 米澤博孝が利賀地区の将来像について熱く語って頂いた要旨を提言として取りまとめたものです。

3. 提 言

● 魅力ある地域づくりを目指して(ソフト対策)

提言1：利賀ダム周辺の周辺を利賀村活性化の一大拠点となりうる活性化策を考えなさい

環境整備事業の実施に地域の声を挙げよう

→ **利賀ダム周辺環境整備計画を活かした観光拠点整備計画とする**

田畑所長 ダム周辺環境整備に関しては利賀村として具体的な計画はお持ちですか。

米澤村長 周辺環境整備では、かつて利賀村や周辺自治体の若者を主体としたワークグループが中心となり、ダム周辺環境整備に関して具体的なスケッチを起こしたこともありましたが、しかし具体的な案まで作成されていません。

田畑所長 ダム周辺環境整備事業は事業者へ粘り強く働きかけ協議し、現道国道 471 号線の利活用も含めて利賀村活性化の一大拠点として下さい。

提言2：坂上地区において、治水・防災に着目した郷づくりをおこなう

護岸の石積みへの参加、ツクチェの人を助ける募金活動

→ **利賀村とツクチェ村の治水・防災環境の理解を深める**

田畑所長 ネパールとの接点で見た場合、この土地柄を表現するのは「治水・防災」です。ツクチェの人々は自分たちで石を積み上げ護岸工事を行い、自分の村を守っています。利賀村でも観光客に一人一個石を積んでもらってはどうかでしょうか。使う石は、ツクチェ村の人が石の目を見て割るのが上手いのでやってもらいましょう。

米澤村長 ツクチェ村で蛇籠に石を入れていますが、それは面白いですね。

田畑所長 石の積み方等は、遊砂地工事で行った工事の風景をパネルにして解説すればよいと思います。これは交流人口が公共整備を行う世界最初の事例となります。また石積みを行った人々に、ネパールの実情を知ってもらい、それを助ける活動として募金箱を設置してあげたらいいのではないのでしょうか。石を積んだ人が 10 円でも 20 円でも入れていけばそれで成功です。

米澤村長 いいですね。お互いの交流の絆が一段と深まりますね。



Fig.1 フトン籠による石積み護岸
(カリガンダキ川)



Fig.2 フトン籠による水制工 (タパ川)

提言3：ネパールを知り・体験する

(1) 多目的広場を活用する

→ **ネパールの遊び・文化を体験できる**

田畑所長 多目的広場では、舗装や観覧階段等を設置し、村での各種イベントに対応できる設備を整備しているとのことでしたが、こういった一般的なイベントの他に活用方法が考えられますか？

米澤村長 現地ネパールの遊びを体験してもらうのも良いかもしれません。例えば現地で行われている弓矢を用いた射的や、蹴鞠に似た娯楽を体験してもらってはいかがでしょうか。現地の人に指導してもらえばなお良いと思います。

田畑所長 弓などは川へ向けていれば危険も少ないでしょう。とにかくそこで何が体験できるのかいろいろメニューを考える必要があると考えます。



Fig.3 ネパールの蹴鞠



Fig.4 ネパール風の蹴鞠遊

(2)ここがネパールであることを実感する

→ **坂上地区に「タルチヨ」を利賀川に架け、経典を刻んだ置石を遊歩道に積み上げる**

田畑所長 ネパールらしい景観をここで実感できるような設備は何か考えられますか。

米澤村長 砂防遊砂地完成記念公園が仏塔風東屋、回廊建屋にマニ車や孔雀窓を納めてあるため、ネパールらしさを十分に感じていただけたと思います。ネパールの仏塔にはタルチヨと呼ばれる小旗を万国旗のように建物から四方八方に渡している光景が見られます。これを計画地に再現したらネパールらしさが醸し出せると思います。

田畑所長 いいですね、利賀川に渡して設置すると雰囲気が出ますね。

米澤村長 石に経典を刻んだものを塔状に積み上げたりするものも見られたりします。

田畑所長 遊歩道に経典を刻んだ石を置いてみるのもいいですね。日本にはない風景でしょうから。



Fig.5 タルチヨ



Fig.6 置石

(3)ネパールを知り・体験する窓口の設置

→ **NPO 法人によるネパール観光の情報提供・観光などの斡旋を行う**

田畑所長 利賀村はネパールとの観光面で接点がありますか。

米澤村長 現在ネパール観光局から名誉観光支所の称号を頂いております。

田畑所長 利賀村はネパールに関して、深い見識があるのでそれを生かしてネパール観光に関する展示や、観光ツアー等を企画したらいいのではないのでしょうか。これに関する観光情報の提供やツアーの斡旋など具体的な業務は、後日立ち上げる NPO 法人に一任すればいいと考えます。

(4)ネパール観光を村内観光へのフィードバック

→ **カリガンダキ川の石を持ち帰った人には、村の施設で利用できるように考える**

田畑所長 石積み体験と関連して、現地から石を持ちかえった人には、何か優遇措置を設けてみてはいかがでしょうか。

米澤村長 ネパールへの関心を引くにはいいかも知れません。人的交流を促進できる可能性も高いですね。

田畑所長 具体的には、カリガンダキ川の石を持ち帰った人には、石1個につき村内観光設備の無料券や割引優待券と引き替えにしてもいいですね。

提言4：村内観光ポイントのネットワーク化

来村者の目線に立ってサインを整備する → **村内交流人口の増加が期待できる**

田畑所長 現在利賀村内にあるサインは、訪れた人に効果的な案内ができていないように思うのですが、来村者の目線に立っていないというか…。

米澤村長 まったくおっしゃるとおりです。現在のサインは、来村者の目線に立ったサインではありません。

田畑所長 利賀川地区だけでなく、合掌文化村へ行くルートとか、その他村内の動き方を来村者の目線に立ってフォローすることが、結果として村内観光設備のネットワーク強化につながると考えます。

● 魅力ある地域づくりを目指して(ハード対策)

提言1：村内交流人口確保のため、ネットワーク（回廊）としての道路整備を促進すること

- (1) スターフォレスト利賀や砂防遊砂地完成記念公園への来訪者がネパールとの治水・防災の郷という共通性を学び、ネパール山岳景観を体験するためには、「そばの郷」、「瞑想の郷」への遊歩道の整備が必要である。
- (2) 利賀川と百瀬川との各エリアの相互誘客及び平村との相互交流を図るため、五箇山合掌文化回廊(阿別当と上百瀬を結ぶ村道)の早期整備が必要である。

提言2：来訪者の安全を確保することから、坂上地区の土砂災害対策強化と周辺アクセス道路の整備を促進すること

- (1) 砂防遊砂地完成記念公園や県道(利賀河合線)、村道の土砂災害に対する安全性を確保するため、坂上谷の土砂災害対策を行う必要がある。
- (2) 坂上谷下流流路工の整備にあわせ、横断する県道(利賀河合線)の道路改良が必要である。

提言3：宿泊機能のグレードアップ

- (1) スターフォレスト利賀の滞在者への体験学習を踏まえ、滞在期間の延長が求められるため、宿泊施設の充実(質の向上)が必要である。
- (2) ネパール山岳景観を体感するため、「暎水の館」の宿泊施設と屋外での朝食設備が有効である。

利賀村地域活性化基本構想概略図

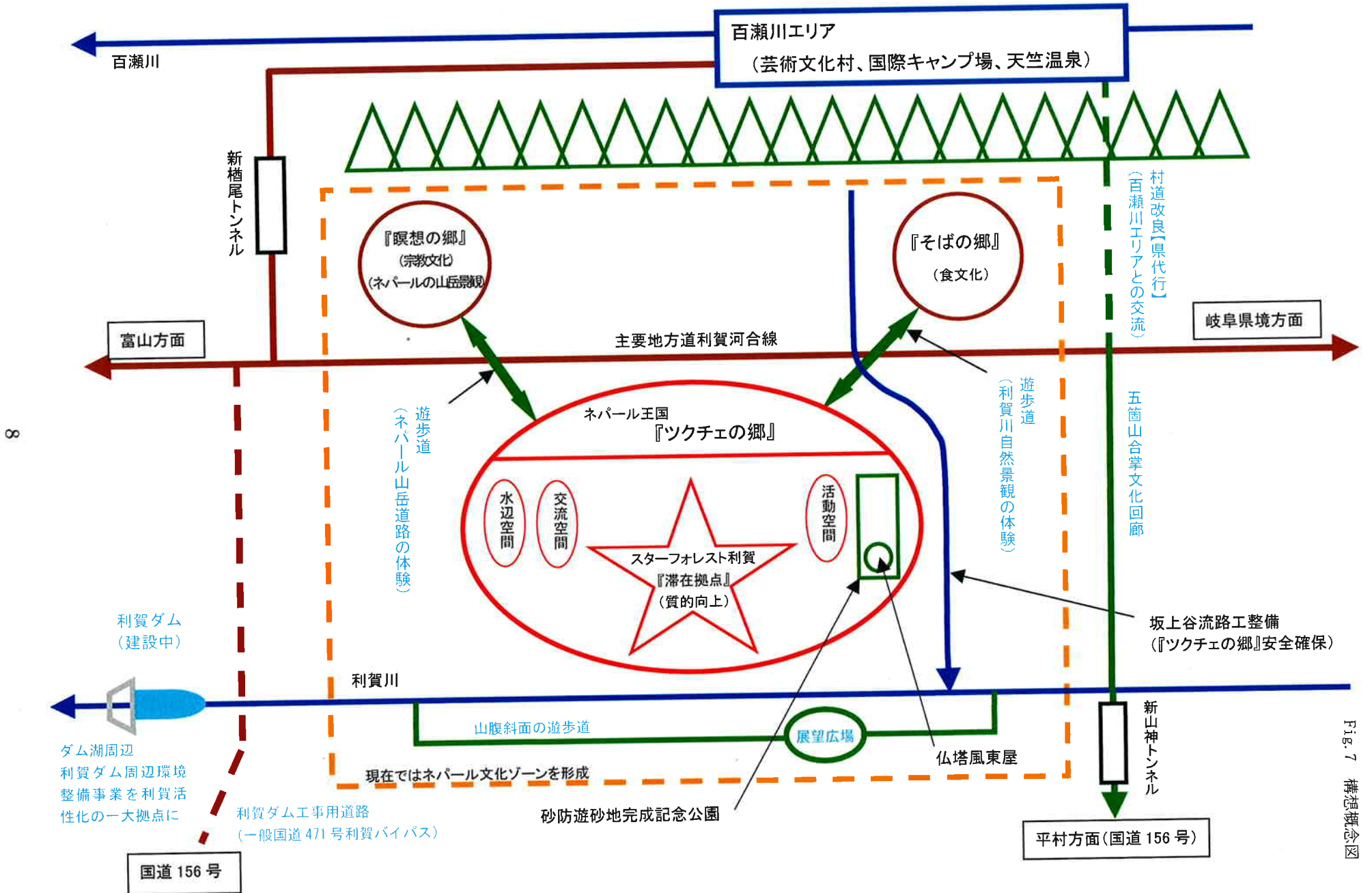


Fig. 7 構想概念図

あとがき

この構想を実現するのは地域住民と行政、中を取り持つNPO等の団体が一体となって、観光客など訪れる人の立場になって進めることが大切です。

利賀村は、平成16年10月末にて自治体としての形を失いますが、これまで築いた利賀の魅力は「永久に不滅です」。引き続き、利賀村をご支援下さいますようお願い申し上げます。



Fig.9 ネパール王国ツクチェ全景

ネパール王国ツクチェ村

標高 3,000mの高地にあるツクチェ村。互いにそばの産地であることから、平成元年に友好村盟約を締結しました。厳しい自然と過疎という共通の問題があることも親しみ深く、山村文化を中心とした独自の交流を展開しています。



(写 真)利賀川砂防事業遊砂地完成記念公園内のネパール風東屋

2004年10月作成